

家庭での実践【小さな「がんばり」をほめる 編】

- ・自分で決めた時間で毎日できたとき褒めるようにしています。次回に繋がります。
- ・少しのことで「すごいね。」「ありがとう。」と言ってモチベーションをあげる。
- ・間違いを正した後に、必ず出来ている部分を具体的に褒めて、何よりやる気を損なわないように気を付けています。
- ・食事を残さなければ褒める。計算問題を間違えなければ褒める。お手伝いすれば褒める など。
- ・分からない問題や間違った解答でも、何か答えを導き出そうとしている姿勢を褒めてやる気につなげようとしています。
- ・家族の中でも自分の役割をきめました。自分で食べたお皿、箸、お椀は自分で洗うや、洗濯干しを手伝うなどをさせて、日々できた事を誉めています。
- ・親が言わなくても宿題を済ませた時など大袈裟に褒める！
- ・毎日よく会話をするようにして、その中で努力していることを褒め、その努力や取り組みが今後学習面や生活面でどのように役立ち、どのくらい大切なことかを楽しく話すようにしている。
- ・言葉にして「頑張ったね！」と褒めたり、お手伝いをしてくれたりしたときに、「ありがとう」と言う。
- ・自分で考えてやった事を褒める。
- ・親が見ていない時(主に学校)に、どんなことがあったのか話を聞き、少しの頑張りや心遣いが出来ていると思えば褒めることにしています。
- ・少なくとも1日1つは良い所を見つけるようにしています。
- ・良いことはもちろん、悪い事をした後に心から反省をさせて謝る事ができた後も誉めてあげるようにしている手伝いをしたり、学校であったことを聞いたりして誉める。
- ・持ち帰ったテストの結果が良くても悪くてもほめる。
- ・自主学習や家庭学習の内容をほめる。
- ・テストの点数や、自主学習の内容など、自分で決めた事や点数が良くなくても、アドバイスはしても否定はしない。
- ・学校での出来事で自分が上達したと思ったことを話してくれることが多いので、大袈裟に褒めるようにしている。そうすることでかなりやる気をだしてくれるタイプなので宿題や日々の学習に対する意欲アップにも繋がっているようです。
- ・子どもが『部活がキツかった』と帰ってきた際、内心では、そんなの当たり前だ・キツイなら体力をつける努力をしなさい、と思いつつも、『それでも最後まで自分なりに頑張っって練習についていったんでしょ？頑張ったじゃん』と声をかけるように心がけてはいます。
- ・子どもにとって、小さなことで否定されるより肯定される方が嬉しいに決まっているし、まず肯定してあげることから入ることを心がけると、こちらが聞かなくても、自分から学校や友達の話をしてくれる機会が多くなったように感じます。
- ・親というより、歳の離れた先輩という感じで接する。話しやすい雰囲気づくり。

- ・毎日コツコツ続けるのは大変な事だけど、今日も頑張ったねと声をかけ、それが結果として出た時にやってきてよかったと本人にも思ってほしい。
- ・自分から進んで取り組むことが学習習慣につながると思い、何を勉強したかというより、取り組んだ姿勢を褒めるようにしています。
- ・学校などで頑張った出来事を話してくれた時に『すごいじゃない』とか『良くてきたね』と言ってギューっとします。
- ・テストの結果だけでなく、普段の学習をほめる様にしています。
- ・部活動、合唱祭、挨拶運動、日々『こんな事したよー』などの話に、「自分からやるって言ったの？偉いね」「先生に頼まれたの？頼られたなんてすごいね」などと何かと褒めています。
- ・受験生だけどなかなか勉強に取り掛からないので、少し頑張った時は大袈裟に褒めてやる気を継続させるようにしてる。
- ・結果だけをみるのではなく、得意なこと不得意なこと、できていることできていないことは何なのかをしっかり把握し、子供の様子もしっかりみるようにしています。
- ・子どものがんばりを家族に紹介する。子どもを直接褒めるのはもちろん、「〇〇くん、こんなことできるんだよ！すごくない？」と子どもの目の前で夫やおばあちゃんに伝えるようにしています。子どもも誇らしそうです。
- ・1日1回は、良い事を見つけて褒めるようにしています。テストも、悪い点であっても出来たところをなるべく褒めるようにします
- ・6年生にもなると、今日学校でどうだった？とストレートに聞いても『楽しかった。』という具合に単語の返事だけになりがちになるので、夕食のお手伝いをしてもらいながら違う話からしてみたり、塾の送迎の車内で2人きりになるタイミングでしてみたりアプローチを考えながら学校での勉強や生活、友人関係などを話します。小さなことでも、本人が頑張っていることなら褒めて毎日のわずかな時間の中ではありますが、子どものやる気を損なわないようにしています。
- ・小さな頑張りを毎日続ける事の大切さ、積み重ねが大きな成果につながる事を常日頃より話しています。たとえ10分の単語だけの学習でもやった事をほめたり、ワークの直しだけでもほめています。毎日、やる事が大事だと伝えていきます。成果が出た時には大袈裟に褒めてやった分だけかえってくることを言葉を添えて伝えていきます。
- ・学校の宿題や習い事の宿題など、必ずやらないといけないことは「これは、あなたの仕事なんだよ。」と伝えています。次に学校や習い事に行くまでに、お仕事を終わらせないと任務完了にならないということ。また、「その”お仕事”(宿題)を一日のうちで、いつ取り掛かるかは自分で決めなさい。それを計画を立てるといって、とても大切なんだよ。」と伝えています。
- ・怒ると委縮してしまい、子供のペースで出来るように環境を整えるようにしています。自分がほとんど褒められた記憶がないので、褒められたかったという願望もあり小さなことでも褒めるようにしています。そして、子供の考えを聞くように心がけています。
- ・我が家独自に、出来たことに対してポイントをあげて、それをおこずかいとして換金出来たりという方法で、自分でやることへの意識付けをしています。